

全国港湾Fax通信

No.

(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番)全国港湾19FAX第102号
(宛先)	2020年 6月30日 時 分
各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長 殿	(発信者) 全国港湾書記局

(件名)

20 港湾春闘情報(終報)

(本文) 20 春闘は、コロナ禍により中断を余儀なくされていたが、既報の通り第2回団交を6月19日に開催した。その後、2回の事務折衝を行い、本日第3回の団交開催となり、仮協定書を締結し、20 春闘は収束した。産別交渉が進展しない中、個別賃金交渉は困難を極めたが、概ね妥結した。6月30日現在の各単組の取り組み結果を下記する。

1. 各単組の取り組み状況について(6月4日現在)

- (1) 全 港 湾 速報分会回答状況について、140分会中112分会(80%)に有額回答が示され、回答額平均は3,611円、率で1.23%となった。そのうち108分会(96%)が妥結し、妥結平均は3,623円となった。昨年の最終回答平均額は、4,104円を481円下回った。
- (2) 日港労連 6月22日第5回港に港荷交渉において妥結した。妥結金額は、基準内平均5,000円で最終合意となった。全検労協は、全国平均3,262円(定昇、一律、職務経験加算込)で、6月24日に妥結した。
- (3) 検数労連 日検は6月18日に、全国平均3,465円(定昇、低率昇給含む)で妥結した。全日検は、全国平均3,262円(定昇、一律、職務経験加算込)で、6月24日に妥結した。
- (4) 検定労連 海事検定職組は、賃上げについては現在交渉中。
シンケン労組は6月24日に組合員一人平均、4,181円で妥結した。
- (5) 全 倉 運 6月26日現在、35組合平均4,854円(1.82%)組合員3,798人の加重平均で、4,984円(1.78%)となった。単純平均、加重平均とも前年度同時期を額・率とも下回っている。
- (6) 大港労組 6月23日に第5回船内統一交渉で妥結した。金額は4,000円となった。同日、夏季一時金も、503,000円+17,000円(一律支給)で妥結した。
- (7) 全日通 3月12日(木)に妥結。
賃金については、3,470円、一時金年間3.2ヵ月。

2. 他団体の賃上げ状況について

(1) 連合

6月5日現在、平均 5,536 円(1.90%)で、昨年同期を 507 円(0.18 ポイント)下回った。中小組合(300 人未満)は、4,512 円(1.81%)昨年同期を 280 円(0.14%)下回った。

(2) 国民春闘共闘

6月1日現在、単純平均(568 組合)4,821 円(1.95%)。加重平均(77,612 人)6,070 円(2.12%)となった。

(3) 経団連

5月21日現在、大手 86 社 7,297 円(2.17%)/昨年実績、8,245 円(2.43%)

以 上